

◆講 師

群馬大学大学院保健学研究科
リハビリテーション学講座
准教授

山路 雄彦 先生



◆演 題

リハビリテーション・栄養・口腔の連携第2回目
～リハビリテーション（理学療法）と口腔機能～

◆簡易抄録

リハビリテーションの一翼を担う理学療法は、対象者に対して、臥位、座位、立位などの姿勢や寝返り、起き上がり、立ち上がり、歩行などの基本的な動作を通して介入します。今回は、いわゆる良い姿勢・悪い姿勢とは、どのようなものなのか？いわゆる悪い姿勢は口腔機能にどのような影響を与えるのか？動作と口腔機能に関わる筋との関連性など、姿勢や動作と口腔機能との関係についてお話ししたいと思います。さらに、群馬県地域リハビリテーション支援センターの立場から、口腔機能に関連する多職種協働についてもお話ししたいと思います。

◆経 歴

群馬大学医療技術短期大学部理学療法学科卒（理学療法士）
電気通信大学大学院電子情報学専攻博士後期課程修了（博士（工学））
群馬県理学療法士協会・副会長（前会長）
群馬県理学療法士協会・作業療法士会・言語聴覚士会連絡協議会・会長
群馬県地域リハビリテーション支援センター・センター長